

東山魁夷館

1990年に開館した東山魁夷館は、画家本人から寄贈された作品に加え、後に収集、寄贈された作品を含めると所蔵点数は970点あまり。2021年度は、《緑響く》や《白馬の森》、《夕静寂》など本制作品36点を6期に分け、奈良や京都、ヨーロッパの古都を描いた連作、「白い馬の見える風景」や「北欧風景」のシリーズ、「唐招提寺御影堂障壁画」の準備作、そして、初期時代の貴重な作品を加えて、静謐な東山芸術の全容をご紹介します。

I期 2021
4/15[木]— 6/1[火]

《緑響く》と《水辺の朝》、《山霊》や《春兆》、《静かな町》を中心に、「京洛四季」シリーズの習作、ドイツ・オーストリア旅行で心惹かれた「窓」をテーマにした小品の連作スケッチをご紹介します。



《緑響く》1982年

III期 2021
7/29[木]— 10/5[火]

連作「白い馬の見える風景」から《白馬の森》と15点の習作、飯山市の希望湖を描いた《静映》、また、《沼》や《沼の静寂》、《緑の窓》など夏の爽やかな風景を描いた作品をご紹介します。



《白馬の森》1972年

V期 2021
12/9[木]— 2022
2/8[火]

東山ブルーを代表する《静唱》や絶作《夕星》をはじめ、《行く秋》や《木枯らし舞う》など、東山晩年の心象風景を描いた秀作を展示します。また、「北欧風景」及び「京洛四季」シリーズからスケッチ、習作をご覧ください。



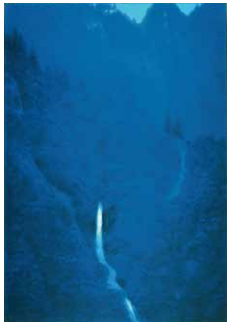
《静唱》1981年

観覧料 | I期、II期、III期(7/29-8/27) *東山魁夷館のみご覧いただけます
一般 500円、大学生及び75歳以上 300円
III期(8/28-)、IV期、V期、VI期 *本館コレクション展もご覧いただけます
一般 700円、大学生及び75歳以上 500円

主催 | 長野県立美術館、長野県 共催 | 長野県教育委員会

II期 2021
6/3[木]— 7/27[火]

《瀧江暮色》や《桂林月夜》、《黄山雨過》、《夕静寂》といった東山畢生の大作「唐招提寺御影堂障壁画」の準備作や関連作品及び戦前の初期時代に描いたスケッチをご紹介します。



《夕静寂》
1974年

IV期 2021
10/7[木]— 12/7[火]

東京美術学校時代に制作した《柿生の里》や《山谿秋色》の初期作品と、本制作の《夕紅》や《紅翳》、《紅葉の谷》など秋色の風景を象徴的に描いた作品を展覧いたします。



《窓》1971年

VI期 2022
2/10[木]— 4/12[火]

信州の冬景をあたかな眼差しで描いた《静晨》《霧氷の譜》、連作「大和春秋」のスケッチ、習作18点と本制作《秋思》など古都奈良の美しい自然の風景を描いた名品を一堂に展示いたします。



《霧氷の譜》1985年

■ 利用案内

開館時間 美術館 開館9:00 閉館17:00(展示室入場は16:30まで)
屋上広場 原則として、夜間及び休館日は閉鎖します

休 館 日 毎週水曜日
(但し、5/5、11/3、2/23は祝日のため開館し、翌日の5/6、11/4、2/24は休館します)
年末年始(12/28-1/3)

入 館 料 企画展・展覧会により異なります
コレクション展(本館・東山魁夷館共通)
一般 700(600)円、大学生及び75歳以上 500(400)円
※本館コレクション展を開催していない日は
一般 500(400)円、大学生及び75歳以上 300(200)円
高校生以下又は18歳未満 無料
※ 割引の併用はできません
※ ()内は20名以上の団体割引及び各種割引
※ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
※ 大学生及び75歳以上の方は身分が確認できるものをご提示ください

■ アクセス 長野県立美術館には、一般来館者の駐車場はありません。併設の東山魁夷館北側に隣接する駐車場は、大型バス、障がいのある方など「信州パーキング・パーミット制度」にて指定された方の専用駐車場です。

美術館近辺の駐車場は混雑が予想されます。
公共交通機関のご利用をお願いします。

◎公共交通機関
JR長野駅善光寺口バス乗り場①から、アルピコ交通バス(11系統善光寺経由宇木行／16系統善光寺・若槻団地経由若槻東条行／17系統善光寺・西条経由若槻東条行)で「善光寺北」下車(所要時間約15分)。バス進行方向徒歩5分。

JR長野駅善光寺口バス乗り場①及び⑦の善光寺経由のバス、もしくは善光寺行き「びんずる号」で「善光寺大門」下車(所要時間約13分)、表参道を善光寺本堂方向に歩き、本堂を右方向、城山公園へ徒歩10分。



長野県立美術館

旧長野県信濃美術館

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4
(城山公園内・善光寺東隣)
TEL.026-232-0052 FAX.026-232-0050
https://nagano.art.museum/

最新情報をチェック!



HOME PAGE Facebook YouTube

プラチナパートナー 信濃毎日新聞

MUSEUM CALENDAR

2021.4 — 2022.3

NOM

長野県立美術館

こどもアートラボ

絵の具や粘土、木材などの身近な素材を用いた月1ワークショップです。
子どもから大人までどなたでも参加することができます。



2021年5月-2022年3月までの
毎月第2土曜日 10:00-15:00
会 場 | 交流スペース
対 象 | 子どもから大人までどなたでもご参加いただけます
参 加 費 | 無料 / 申込不要 (開催時間内にお越しください)



おやこでトーク

小学生以下の子どもとその保護者を対象として、展示室でおこなう対話による鑑賞プログラムです。作品をみて感じたことを、みんなで話しながら作品鑑賞を楽しみます。

2021年5月-2022年3月までの奇数月の第2土曜日
11:00-12:00
集合場所 | 交流スペース
対 象 | 小学生以下の子どもとその保護者
定 員 | 5組
参 加 費 | 無料(要観覧料) / 要申込(1ヶ月前から申込先着順にて受付)
※プログラムは1時間程度を予定しています。
※鑑賞する展覧会は当館ウェブサイトをご確認ください。

たてものツアー

美術館の機能や建築に使われた素材、美術館のひみつを見つけ、たてもの探訪ツアーです。

2021年6月-2022年3月までの
偶数月の第2土曜日 11:00-12:00
集合場所 | 交流スペース
対 象 | 中学生以下の子どもとその保護者
定 員 | 5組
参 加 費 | 無料(要観覧料) / 要申込(1ヶ月前から申込先着順にて受付)
※プログラムは1時間程度を予定しています。



●2021年度長野県立美術館移動展

長野県伊那文化会館 2021年11月2日[火]—11月28日[日]
月曜日休 (祝日の場合は翌日)

あしたむらんど下條 2021年11月27日[土]—12月12日[日]
会期中無休

●長野県立美術館交流名品展

小海町高原美術館との共同開催となる本展では、当館のコレクションから佐久地域にゆかりの深い作品を中心にご紹介いたします。
近代の名品から現代美術まで、多様な表現をご覧ください。

2021年9月11日[土]—11月7日[日]
休 館 日 | 火曜日 (祝日の場合は翌日)・9月24日・11月4日
会 場 | 小海町高原美術館
観覧料 | 一般 500円、高校生以下又は18歳未満無料



岡田三郎助《千ヶ滝》1935年

展示室1	10	長野県立美術館完成記念 未来につなぐ〜新美術館でよみがえる世界の至宝 東京藝術大学 スーパークローン文化財展	6	19	めぐりあいJAXA ―ながのとながめ	15	28	長野県立美術館グランドオープン記念 森と水と生きる	3	19	東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展	16	2	松澤有 生誕100年	21			
展示室2				19	つながる美術館 宮崎浩と ランドスケープ・ミュージアム	15												
展示室3				19	10 Mame Kurogouchi	15												
コレクション展示室	10	ふれてみて				15	28	長野県立美術館名品選	26	28	長野県立美術館名品選	11	13	長野県立美術館名品選	15	17	コレクション展(仮)	5/17
アートラボ							28	光島貴之展	26	30	西村陽平展	11	15	中ハシクシゲ展	15	19	金箱淳一展	5/17
交流スペース	10	Something there is that doesn't love a wall 一榊原澄人×ユーフラテス				15												
オープンギャラリー	10	美術館のある街・記憶・風景 日常記憶地図で見る50年	27	1	オープンギャラリー 夏季展示	14	9	公開制作				19	8	県内アートプロジェクト紹介 木曾ペインティングス				29

企画展

長野県立美術館完成記念

未来につなぐ〜新美術館でよみがえる世界の至宝

東京藝術大学
スーパークロン文化財展

2021.4/10〔土〕―6/6〔日〕 会場|展示室1・2・3

観覧料|一般 1,400円、大学生 1,200円

主催|長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、
(公財)信毎文化事業財団

共催|長野県教育委員会、東京藝術大学、SBC信越放送
特別協力|東京藝術大学COI拠点、株式会社IKI

新美術館完成記念として、東京藝術大学が最新のデジタル技術を駆使し、周囲の環境までも精密に復元した「スーパークロン文化財」を紹介。存亡の危険にさらされる文化財の保護と公開の問題について新たな視点から考えます。



法隆寺釈迦三尊像復元（CGによる再現）
本邦初公開

松澤宥
生誕100年

2022.2/2〔水〕―3/21〔月・祝〕

会場|展示室1・2・3

観覧料|一般 800円、
大学生及び75歳以上 600円

主催|長野県、長野県立美術館
共催|長野県教育委員会

特別協力|一般財団法人松澤宥ブサイの部屋

松澤宥（1922―2006）は、長野県下諏訪町生まれで、同地を拠点に活動した日本を代表するコンセプチュアル・アーティストです。松澤宥生誕100年にあたり、大回顧展を開催します。



《ブサイの部屋》2018年11月16日撮影
「文化庁平成30年度我が国の現代美術の海外発信事業」の一環として撮影



東山魁夷
《唐招提寺御影堂障壁画 濤声》部分
1975年唐招提寺蔵

東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展

2021.11/19〔金〕―2022.1/16〔日〕

会場|展示室1・2・3

観覧料|一般 1,500円、大学生 1,300円

主催|長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、SBC信越放送、日本経済新聞社
共催|長野県教育委員会 特別協力|唐招提寺

長野県立美術館グランドオープン記念

森と水と生きる

2021.8/28〔土〕―11/3〔水・祝〕

会場|展示室1・2・3

観覧料|一般 1,000円、大学生及び75歳以上 800円

主催|長野県、長野県立美術館 共催|長野県教育委員会

長野県立美術館のグランドオープンを記念する本展では、新しい収集方針の一つである「自然と人間」をテーマに、ありとあらゆる芸術作品に表現された多面的な自然の姿を展覧します。絵画や写真、インスタレーションなど、さまざまな方法で表現された近現代美術を紹介し、今日のわたしたちと芸術、そして自然の関わりを見つめ直します。



フェルディナント・ホドラー《木を伐る人》
1910年大原美術館蔵

10 Mame Kurogouchi

2021.6/19〔土〕―8/15〔日〕 会場|展示室3 観覧料|一般 500円

主催|長野県、長野県立美術館 共催|(株)黒河内デザイン事務所

新美術館は、スタッフユニフォームを、ファッションブランド「Mame Kurogouchi（マメ クロゴウチ）」を手がける黒河内真衣子に依頼しました。2018年よりパリでコレクションを発表している長野県出身のデザイナーです。長野の美しい自然を身近に感じながら育ったことが、今の自分のデザイナーとしての美的感覚に大きく影響を与えている、という黒河内。そのデザインの魅力をご紹介します展覧会を開催します。



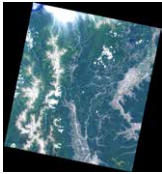
めぐりあいJAXA ―ながのとながめ

2021.6/19〔土〕―8/15〔日〕 会場|展示室1 観覧料|無料

主催|長野県、長野県立美術館 共同キュレーション|澤隆志

協力|国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

新美術館では、絵画や彫刻だけではなく、映像作品や写真といったジャンルについても積極的に紹介していきます。新しい取り組みとなる本展では、近年、著しい技術進歩を遂げ、また多くの映像作家、写真家のインスピレーションの源となっている宇宙観測技術をテーマに、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の人工衛星「だいち」が撮影した長野県の高精細画像を元にした映像作品に関連資料とともに展示します。宇宙から長野県を俯瞰する映像体験をお楽しみください。



澤隆志
《めぐりあいJAXA》

長野県立美術館メイキングドキュメント
つながる美術館

宮崎浩と

ランドスケープ・ミュージアム

2021.6/19〔土〕―8/15〔日〕

会場|展示室2 観覧料|無料

主催|長野県、長野県立美術館

特別協力|(株)ブランツアソシエイツ



新美術館イメージ©ブランツアソシエイツ

旧長野県信濃美術館は、2021年4月、善光寺をはじめとする豊かな周囲の環境と調和する「ランドスケープ・ミュージアム」として新たに生まれかわりました。設計を担当した建築家・宮崎浩は、周囲の環境と“つながる美術館”をキーワードに設計を進め、県民をはじめ多くの関係者との対話を通じて、開かれた美術館の完成を目指しました。本展では新たに生まれかわった長野県立美術館建設の歩み、その全貌を紹介します。

オープンギャラリー

観覧料|無料 主催|長野県、長野県立美術館

美術館のある街・記憶・風景
日常記憶地図で見る50年

2021.4/10〔土〕―6/27〔日〕

善光寺周辺のこの街と、この地域に暮らす人々と当館の関係性を見つめ直すため、「日常記憶地図」というメソッドを展開するサトウアヤコを迎えます。

オープンギャラリー 夏季展示

2021.7/1〔木〕―9/14〔火〕

「霧の彫刻」を水辺テラスに制作した中谷美二子、その土地の石を現地の人びとと磨くプロジェクトを行う富長敦也、日本の伝統的文化を下敷きに独自の表現を追求する・小松美羽。各作家の業績を紹介します。

■富長 敦也 7/1〔木〕-7/27〔火〕
■小松 美羽 7/29〔木〕-8/24〔火〕
■中谷美二子 8/27〔金〕-9/14〔火〕

公開制作

2021.10/9〔土〕―12/19〔日〕

公開制作は作家が一定期間オープンギャラリーに通い、作品を制作し、完成作品の公開を行う企画です。長野県ゆかりの実力派画家を招聘します。

県内アートプロジェクト紹介
木曾ペインティングス

2022.1/8〔土〕―3/29〔火〕

県内各地域の文化活動の活況を広く周知する機会です。今回は、美術家・岩熊力也を中心に開催している「木曾ペインティングス」を紹介し



新美術館みんなのアートプロジェクト

ふれてみて

2021.4/10〔土〕―8/15〔日〕

会場|コレクション展示室・アートラボ

観覧料|無料 主催|長野県、長野県立美術館



2階に新設される「アートラボ」。視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な作品を展示する「ラボ(実験室)」として、誰でも立ち寄れ、アートに触れて、新たな発見が生まれる場となることを目指しています。「新美術館みんなのアートプロジェクト」では、金箱淳一、中ハシクシゲ、西村陽平、光島貴之という4名の作家に「アートラボ」のためのオリジナル作品の制作を依頼しました。本展では、その全作品をご紹介します。触れて楽しむアート。いつもとは違う作品鑑賞をお楽しみください。

アートラボ2021 会場|アートラボ 観覧料|無料

第Ⅰ期 光島貴之展

2021.8/28〔木〕―10/26〔火〕

第Ⅱ期 西村陽平展

2021.10/30〔土〕―2022.1/11〔火〕

第Ⅲ期 中ハシクシゲ展

2022.1/15〔土〕―3/15〔火〕

第Ⅳ期 金箱淳一展

2022.3/19〔土〕―5/17〔火〕

新美術館みんなのアートプロジェクト

Something there is that doesn't love a wall

一榊原澄人×ユーフラテス

2021.4/10〔土〕―8/15〔日〕 会場|交流スペース 観覧料|無料

主催|長野県、長野県立美術館



ユーフラテス《1本の線》(仮題)部分

榊原澄人《イヅナアナクロニクル》(仮題)部分

新美術館では、長野県と映像メディアの深い関係を踏まえ、新築オープンを契機に、映像や写真などの紹介にも取り組んでいきます。「新美術館みんなのアートプロジェクト」の成果発表の場となる本展では、榊原澄人《イヅナアナクロニクル》(仮題)とユーフラテス《1本の線》(同)の上映展示を行います。来館者に開かれた美術館の象徴となる作品をお楽しみください。

コレクション展示室も新設!!

長野県立美術館名品選

会場|コレクション展示室

観覧料|一般 700円、大学生及び75歳以上 500円

*東山魁夷館もご覧いただけます

第Ⅰ期 2021.8/28〔土〕―10/26〔火〕

第Ⅱ期 2021.10/28〔木〕―2022.1/11〔火〕

第Ⅲ期 2022.1/13〔木〕―3/15〔火〕

蓼田春草、荻原礫山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された、長野県立美術館のコレクション。今年度は「名品選」と称して、収蔵品の中から選りすぐりの作品約140点を3期にわたって展示します。洋画、日本画、工芸等様々なジャンルの「名品」たちが一堂に会するまたとない機会となります。



林佯衛《出獄の日のO氏》
1919年

2022年度コレクション展 (仮)

第Ⅰ期 2022.3/17〔木〕―5/17〔火〕